

平成 26 年度国内モニタリングデータ
(湿性・乾性沈着、土壌・植生、陸水、集水域)の概要

アジア大気汚染研究センター

1. データ確定・公開までの手続き

越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング計画に基づき、自治体等によって観測が行われ、環境省に提出されたモニタリングデータは、アジア大気汚染研究センターにおいて集計され、データの検証作業が行われる。その際、次ページに示した専門家から成るデータ検証グループのチェックを受ける。

集計及びデータ検証の終わったデータは、7月頃に開催される大気モニタリングデータ総合解析ワーキンググループ及びオゾン・酸性沈着の生態影響評価ワーキンググループにおいて承認を得た時点で確定されたものとされ、10月を目途に前年度データが環境省のホームページ上で公表・公開される。また、EANET 地点のデータは確定後、EANET ネットワークセンターに提出される。

なお、公開されたデータはホームページおよびデータ提供請求より自由に入手と利用が可能となる。(公開されたデータを利用して発表等を行う者には、出典を明らかにすることを求めるものとする。)

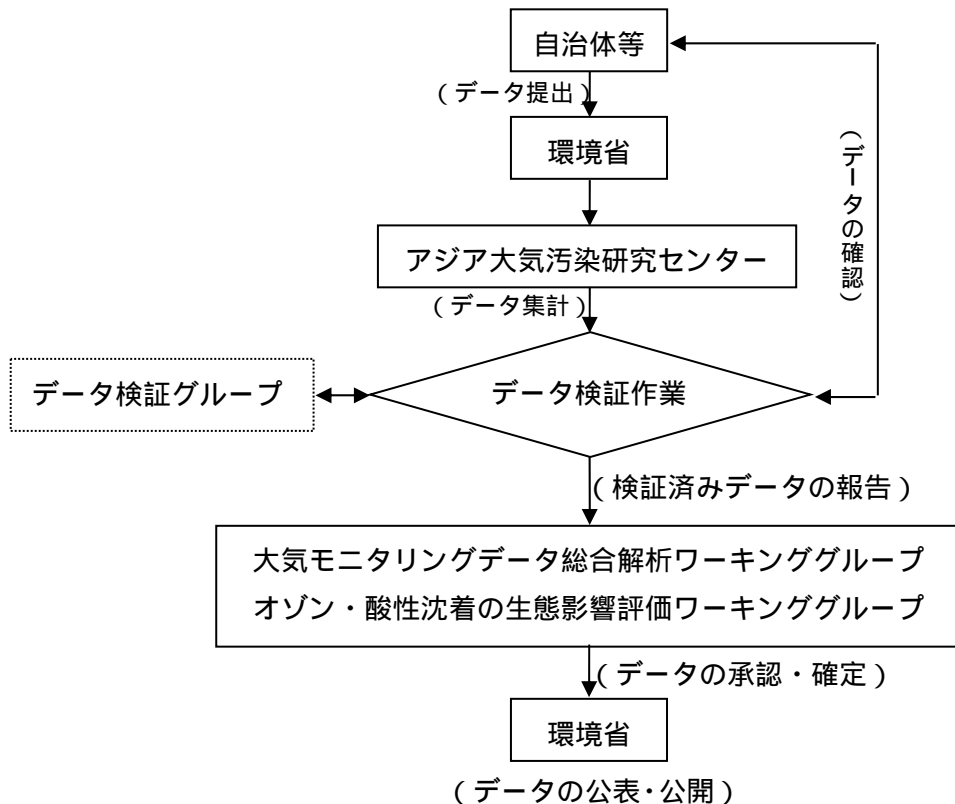


図. データ確定・公開までの作業フロー

【参考】平成 27 年度データ検証グループ名簿

(敬称略)

大気系（湿性）		
木戸 瑞佳	富山県環境科学センター大気課	主任研究員
原 宏	東京農工大学	名誉教授
皆巳 幸也	石川県立大学生物資源環境学部環境科学科大気環境学研究室	准教授
村野健太郎	法政大学生命科学部環境応用化学科	教授
山口 高志	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究センター環境保全部地球・大気環境グループ	研究主任

大気系（乾性）		
藍川 昌秀	国立研究開発法人国立環境研究所 地球環境研究センター 炭素循環研究室	主任研究員
奥田 知明	慶応義塾大学理工学部 応用化学科	准教授
桜井 達也	明星大学理工学部総合理工学科 環境・生態学系	助教
高橋 章	一般財団法人電力中央研究所 環境科学研究所	上席研究員
松田 和秀	東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス 教育研究センター	准教授
松本 利恵	埼玉県環境科学国際センター大気環境担当	担当部長

土壌・植生系		
太田 誠一	京都大学	名誉教授(国際緑化推進センター技術顧問)
久米 篤	九州大学大学院農学研究院 環境農学部門森林環境科学講座	准教授
小林 政広	国立研究開発法人森林総合研究所企画部放射性物質影響評価監 チーム長	(環境影響評価担当)

陸水系		
井上 隆信	豊橋技術科学大学建設工学系	教授
川上 智規	富山県立大学工学部環境工学	教授
山田 俊郎	岐阜大学工学部社会基盤工学科	准教授

集水域系		
金子 真司	国立研究開発法人森林総合研究所立地環境研究	領域長
新藤 純子	山梨大学大学院 総合研究部生命環境学域	教授
山田 俊郎	岐阜大学工学部社会基盤工学科	准教授

2 . 平成 26 年度モニタリング結果

資料4 - 1に平成26年度国内大気モニタリングデータ（湿性・乾性沈着）の解析内容を、資料4 - 1の別紙1に各地点における湿性沈着、乾性沈着モニタリングの年平均値を示す。また、資料4 - 2に平成26年度国内大気モニタリングデータ（土壌・植生、陸水、集水域）の解析内容を、資料4 - 2の別紙に各地点における土壌・植生、陸水、集水域のモニタリング結果の概要を示す。

なお、資料4 - 1、資料4 - 2の解析内容については、各ワーキンググループおよび越境大気汚染・酸性雨対策検討会による審議を経て、環境省のホームページ上で公開されることとなっている。